

平成 25 年 3 月 19 日

報道関係各位

南池袋二丁目 A 地区市街地再開発組合
東京建物株式会社
財団法人首都圏不燃建築公社

日本初^{*}の区本庁舎(豊島区新庁舎)一体超高層マンションの建物名称

「としまエコミューゼタウン」に決定

住宅部分の名称は「Brillia Tower池袋(ブリリアタワー池袋)」に決定

～「Brillia Tower 池袋」、4月13日(土)よりモデルルームオープン～

目標数の2.5倍の5,000件以上の資料請求を突破

1,000件以上の来場予約済(ゴールデンウィークまで予約で満席予定)

※自治体本庁舎として全国初(2010年11月豊島区調べ)

南池袋二丁目 A 地区再開発組合は、本建物が豊島区の新しい拠点としてより親しみをもって利用していただくため、平成 24 年 11 月～平成 25 年 1 月まで、この新生する建物名称(区本庁舎部分・商業部分・住宅部分をまとめたの総称)の公募を行ってまいりました。このたび、厳正なる審査の結果、建物名称は最優秀賞に選ばれ、これを基に決定された「としまエコミューゼタウン」となりました。なお、住宅部分の名称は「Brillia Tower 池袋」に決定しました。

【受賞作品】

■最優秀賞 「としまエコミューゼタウン」

建物全体が地球環境に配慮した建物となっていることを効果的にアピールするため、「エコ・ミューゼ」という言葉をキーワードとしています。また、憩いの場として、人々が自由に気軽に集う場、ひとつの街となるよう、「タウン」という言葉に希望をこめました。

「としまエコミューゼタウン」完成予想図



住宅部分の「Brillia Tower 池袋」は、駅直結の魅力や区本庁舎一体の安心感・世界的建築家隈研吾氏による監修のデザイン性の高さなど、その注目度の高さから5,000件以上の資料請求、1000件以上の来場予約をいただき(ゴールデンウィークまで予約で満席予定)、来る平成25年4月13日よりモデルルームをオープンします。

同ゲストサロンでは、70㎡～130㎡台の3つのモデルルームのほか、高さ約5m(1/40スケール)の大型建物模型、防災対策の実物展示、コンセプトシアターをご覧ください。

<BrilliaTower池袋の特徴>

参考資料

1. 区本庁舎一体型の街づくりで暮らしやすさと利便性を

1. 概要説明

■地上49階建て・全432邸^{※1}の複合大規模タワーレジデンス

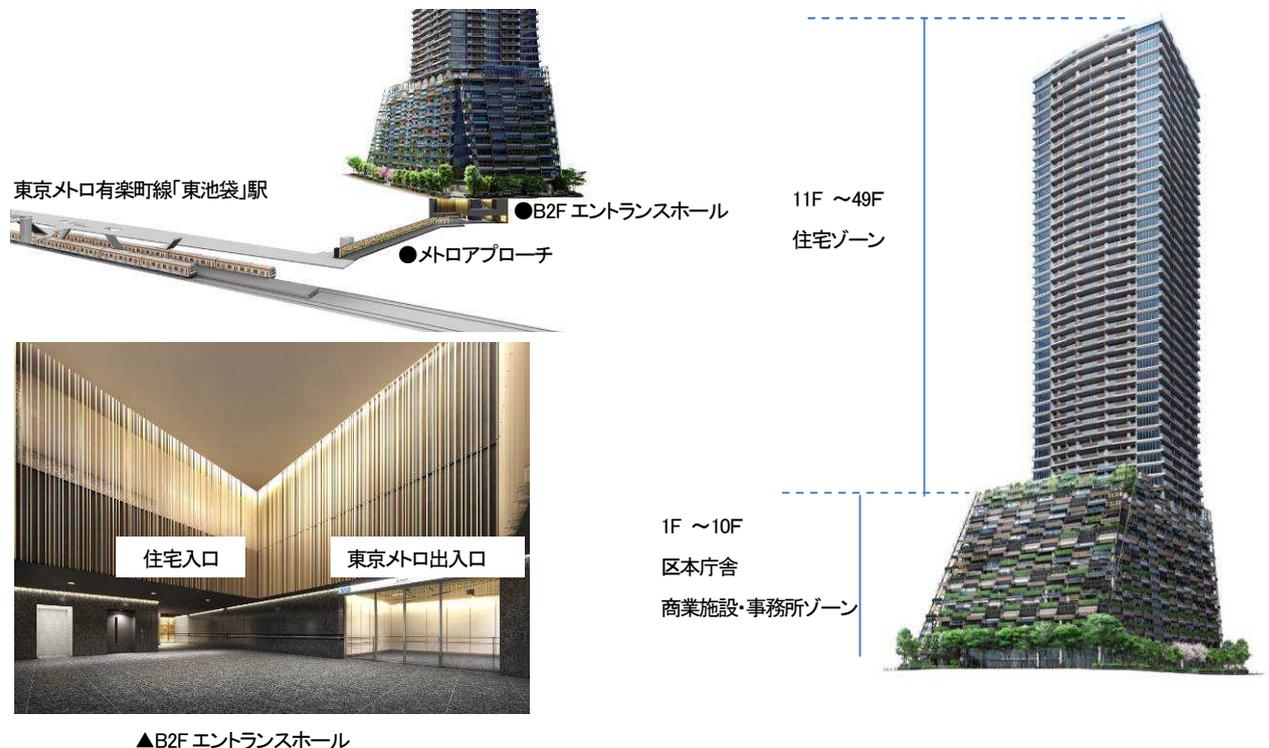
本プロジェクトは、豊島区新庁舎をはじめ商業施設、事務所そして住宅が一体となった立体都市。なかでも住宅ゾーンは11階以上にご用意しているので、都心を望む景色と開放感が期待できます。

また、1階・2階には商業施設が配されるなど、多様な施設が一体となることで、この先永く暮らすにふさわしい日常利便性も兼ね備えています。

※1 非分譲110戸を含む

■東京メトロ有楽町線「東池袋」駅へ直結

本プロジェクトのB2Fエントランスホールから、東京メトロ有楽町線「東池袋」駅へ直結するメトロアプローチを新設(平成27年3月完成予定)。例えば銀座の商業施設などへも、自宅の玄関から雨に濡れずに出かけることができます。



2. 強固な構造～豊島区新庁舎一体がもたらす安心感～

■区本庁舎が入るにふさわしい先端技術を用いた建物構造

豊島区新庁舎と一体の本プロジェクトは、「官庁施設の総合耐震計画基準」において3分類中最も高い性能を示す「Ⅰ類」を満たしています。

「Ⅰ類」は警察署や消防署など災害応急対策活動に必要な施設のうち特に重要な施設に求められる基準で、大地震が起きた後でも、構造体の補修をすること無く建築物を使用できることを目標としています。

官庁施設の総合耐震計画基準

Ⅰ類	本庁舎、警察署、消防署	
Ⅱ類	一般庁舎、病院、学校	
Ⅲ類	共同住宅、宿舍	

※上記記載の施設は、用途例でありすべての施設に該当はいたしません。

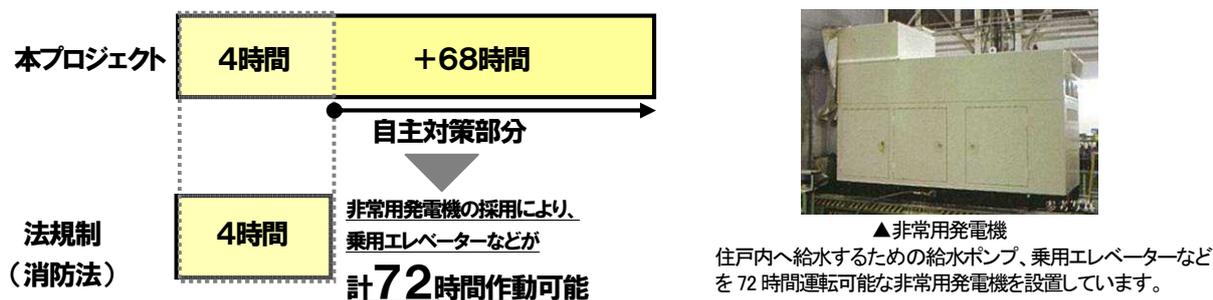
3. 災害時対策と防災拠点としての役割

もし大地震などの災害が起きたら。そう思うだけでも誰も不安になります。本プロジェクト内では住宅用防災備蓄倉庫や非常用発電機を設置し防災に備えています。災害により電力会社からの電力が停止した場合でも、非常用発電機は72時間使用可能。また各住戸には多機能ラジオや携帯トイレなど緊急時に必要なものをBrilliaオリジナル防災リュックに入れて配布します。

■災害により電力会社からの電力が停止した場合、非常用発電機が72時間作動可能*です。

災害時に電力が停止した場合に、法的に定められている非常用エレベーターや、自動火災報知設備などの使用はもちろんのこと、通常使用しているエレベーターのシャトルエレベーター・低層用・高層用のそれぞれ1台、計3台が利用できます。さらに住戸内のキッチン、洗面、バスルームの水が利用でき、トイレの水も流すことができるなど非常時においても日常生活を妨げない設備を備えています。

<非常用発電機による電力供給比較>



乗用エレベーター (3台) 高層階へ階段でしか登れないなどの煩わしさはありません。	共用廊下照明 (非常時想定分のみ) 非常時には明かりがあることで安心感が違います。	共用部コンセント (1フロア当たり2ヶ所) 携帯電話の充電など緊急を要する場合に役立ちます。	住居内キッチン給水 (温水は出ません)	住居内洗面給水 (温水は出ません)	住居内ユニットバス給水 (温水は出ません)	住居内トイレ洗浄水 (ウォシュレットリモコンは不可)
住戸内の給水が機能するため、飲み水のほかトイレなど非常時においても必要な設備を使用することができます。						

■災害時に備蓄品を供給できる防災備蓄倉庫

人命救助や危険回避の道具、避難誘導に役立つ備品などのほか、非常時に必要とされるヘルメットや浄水装置などを収納する「住宅用防災備蓄倉庫」を完備しています。

また、万一の災害による長時間停電の場合でも、給排水ポンプ、乗用エレベーター、保安用照明などの住宅共用設備を3日間運転可能な非常用発電機を設置しています。

各住戸には、多機能ラジオや携帯トイレなど緊急時に必要なものをBrilliaオリジナル防災に入れて配布します。

■豊島区災害対策センターが同じ建物の区本庁舎内に

区本庁舎内の豊島区災害対策センターが非常時に機能し、豊島区全域の災害対策の司令塔になります。



▲住宅用災害備蓄倉庫



▲Brilliaオリジナル防災リュック



▲豊島区災害対策センター

2. 共用施設部分～建築家・隈研吾氏がデザインする住空間～

■建築家・隈研吾氏がデザインする共用空間

都心にある住まいだからこそ、住空間は賑やかさとは別世界の空間を創りたい。その空間に身を置くだけで我が家に帰ってきたやすらぎを感じられるような空間でありたい。

そんな願いを叶えるため、世界的に活躍する建築家、隈研吾氏が外観・共用空間のデザインを監修しました。自然の光や緑をデザインのモチーフやアクセントに取り入れることで、華やかさだけではなく、上質なパブリックスペースをデザインしました。



▲メインエントランスホール(1階)



▲メインラウンジ(11階)

■子供から大人まで、日常のあらゆる時間を充実させてくれる多彩な共用施設

我が家のベースステーションとも言える11階フロアには、どなたにもお楽しみいただける共用施設をご用意しています。大空をバックにパーティーを楽しめるパーティールームや、気分転換にピッタリの読書スペースであるエコライブラリーをはじめ、ママ同士の交流の場にもなる“ボーンレンド”監修のキッズルーム、フィットネスルームやセラピーブース・スタディールームなどが日々の暮らしを一層充実させてくれます。



▲パーティールーム(11階)



▲エコライブラリー(11階)



▲ヒーリングルーム(11階)

東京都心の夜景を眺められるビューラウンジは、ホテルライクな天空のラウンジ。大きなソファに腰を落ち着けながら、非日常のひとときを味わえます。

屋上のスカイテラスからは、富士山や360度に広がる都心の景色を見渡し、頭上に広がる大空を存分にお楽しみいただける、住む方の為だけにある、贅沢な空間です。



▲ビューラウンジ(31階)



▲スカイテラス(屋上)

3. 環境にやさしいすまいと環境建築

■未来への指標となる、環境に配慮した建物を。

未来への指標となる、環境に配慮した建物を一。区本庁舎一体型の街づくりをはじめ、次世代に誇るべき試みを数多く採用した本プロジェクトにおいて、環境への配慮も大切な要素のひとつです。時を超えて愛され続ける建物であるために、あらゆる設備・仕様を採用しています。

なかでも特徴的なのが、本プロジェクトの建物周囲に環境負荷を軽減する5種類のパネルを貼り巡らせる“エコヴェール”。パネルのひとつである太陽光パネルで発電した電力は、設置されているゾーン別に使用されます。

■住宅ゾーン

	太陽光パネル 屋上に太陽光パネルを設置。住宅共用部に使用する電力に寄与します。
	シーソータイプのソーラーガラス 採光を確保するとともに、発電を行う透過タイプのガラスを設置します。
	透明ガラス 眺望や採光、開放感を確保します。
	カラーガラス 採光や開放感を確保します。

■区本庁舎ゾーン

	シーソータイプのソーラーガラス 採光を確保するとともに、発電を行う透過タイプのガラスを設置します。
	透明ガラス 眺望や採光、開放感を確保します。
	太陽光パネル 外装に太陽光パネルを設置。共用部に使用する電力に寄与します。
	壁面緑化 直射日光を遮るとともに季節のうつろいを感じられる表情を見せてくれます。
	木目調ルーバー 建物内への直射日光を避けて冷房効果を上げるとともに、効果的な採光を確保し快適な室内環境を実現します。

※住宅ゾーンの発電は住宅共用部分で使用、本庁舎ゾーンの発電は本庁舎で使用します。

■屋上緑化「豊島の森」で生物多様性を目指した広域環境づくり

本プロジェクトの中・低層部の区本庁舎には、貴重な生態系を回復することを目標とした「豊島の森」「豊島エコムーゼ」が整備されます。施設そのものが自然を取り入れた快適で健やかなライフスタイル実践の場となり、健康・環境などに軸足を置いた生活の拠点として、多様な自然と触れ合える憩いや学びの場となることをめざしています。



▲屋上緑化「豊島の森」(提供:豊島区)

多様な樹木や草花が生い茂る屋上庭園「豊島の森」。緑化することで断熱効果を生み出します。



▲豊島エコムーゼ (提供:豊島区)

屋上庭園の「豊島の森」と4階・6階・8階の緑化した屋上テラスで豊島区の生態系を体感できます。

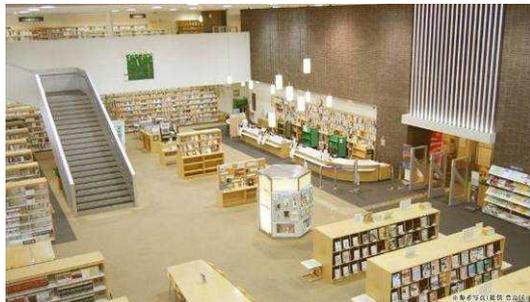


4. 東池袋エリアという立地 ～再開発で変貌する街～

■文化・芸術・行政が集積する東池袋エリア

本プロジェクトが建つエリア周辺には、再開発で生まれ変わった区民の芸術交流の場である「豊島区舞台芸術交流センター（あうるすぽっと）」や約3,000㎡もの広さに2層の吹き抜けの明るい館内でゆったりと本を選ぶことのできる「豊島区立中央図書館」など、文化・芸術施設が集積しています。

さらに、豊島区の行政の中心といえる豊島区議会議場などを有する豊島区新庁舎が本プロジェクト内に入ります。区本庁舎一体の住まいである本プロジェクトは、このエリアの中心的存在として池袋の新しい魅力を生み出していきます。



▲豊島区立中央図書館（現地より約260m・徒歩4分）



▲豊島区立舞台芸術交流センター（あうるすぽっと）
多くの劇場があつまる「演劇の街・池袋」で唯一の区立の劇場として、“人々と芸術文化が逢い集う場”を目指し平成19年に開館。身近に芸術に親しめるスポットとして人気を集めています。（現地より約260m・徒歩4分）



▲豊島区議会議場 参考CG(提供:豊島区)
建物内8階・9階に入る、木の質感を活かしたデザインの議場は、区議会としてはもちろん、区民が参加する会議や国際会議などにも使用されます。

■多種多様な商業施設に加え、水族館・劇場・博物館までが揃う一大施設を日常に

展望台や医療機関が揃う「サンシャイン60」。成城石井やオシャレなカフェなどが集う「専門店街アルパ」。レストランも魅力的な「プリンスホテル」。水族館やアミューズメント施設までが入った「ワールドインポートマート」。ショッピングなら「ALTA」。さらに劇場やスポーツクラブなどが入る「文化会館」と多彩な施設が揃います。

本プロジェクトのB2Fメトロアプローチからなら、雨に濡れずに徒歩6分で到着。一大施設を近くにする利便性を最大限に享受できます。



▲サンシャインシティ
（現地より約480m・徒歩6分）



▲専門店街アルパ
（現地より約480m・徒歩6分）



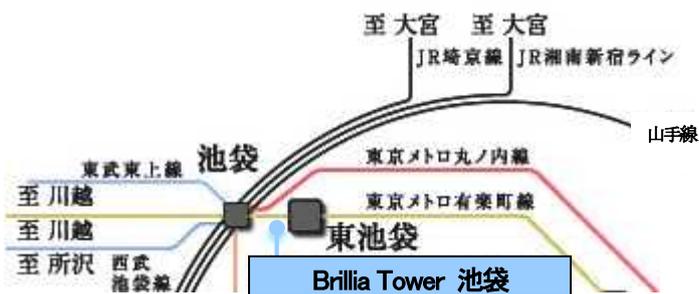
▲コナミスポーツクラブ池袋
（現地より約480m・徒歩6分）

■交通アクセス

- ・東京メトロ有楽町線「東池袋」駅徒歩1分
（地下2階より地下通路直結）
- ・JR線「池袋」駅より徒歩8分

・「東池袋」駅から
「永田町」駅まで13分
「銀座一丁目」駅まで19分
（有楽町線利用）

・「池袋」駅から
「新宿」駅まで5分
「渋谷」駅まで10分
（JR埼京線利用）



「Brillia Tower 池袋」物件概要

所在地	: 東京都豊島区南池袋二丁目24番24 (地番)
交通	: 東京メトロ有楽町線「東池袋」駅徒歩1分(地下2階より地下通路直結)、 JR線「池袋」駅より徒歩8分
総戸数	: 432戸(内非分譲住戸110戸)
住戸専有面積	: 31.25㎡~161.26㎡(70㎡台、80㎡台が中心)
間取り	: 1R~3LDK(3LDKが約80%)
予定価格	: 3,000万台~最高2億円を予定(7,000万台、8,000万台が中心)
建物階数/建物高	: 地上11階~49階(高さ約189m)
施行者	: 南池袋二丁目A地区市街地再開発組合
参加組合員	: 東京建物株式会社、財団法人首都圏不燃建築公社
デザイン監修	: 株式会社隈研吾建築都市設計事務所 (外観および一部共用部)
設計・監理	: 株式会社日本設計 (構造設計協力/大成建設株式会社)
施工	: 大成建設株式会社 東京支社
建物竣工予定日	: 平成27年2月下旬 竣工予定
今後の予定	: 平成25年4月13日(土)モデルルームオープン

「Brillia Tower 池袋」資料請求状況

問合せ数	: 5,000件(H24年11月12日より開始、目標数の2.5倍)
来場予約数	: 1,000件
現居住地	: 豊島区35%、隣接区(文京区、練馬区、板橋区)20%、都内全域、埼玉県他県も多い * 有楽町沿線も多いが、副都心線相互乗り入れによる影響もある。
年齢	: 40歳前後が過半数を占めるが、50歳以上のシニア層も40%ある。
家族数	: 2人家族が40%であるが、3人、4人家族のファミリー層も40%と多い。
職業	: 会社員が過半数を占めるが、会社役員、経営者も20%、医師等も10%
評価ポイント	: メトロ有楽町線「東池袋」駅直結(徒歩1分)、副都心「池袋」駅徒歩8分の利便性に対する評価も高いが、72時間の非常用発電機の災害時対策、免震工法の採用、そして「官庁施設の総合安全耐震計画基準」でI類(最高位)を満たしているなど豊島区庁舎一体であることの安心感に対する評価が高い。



■建築家プロフィール

隈 研吾【くま けんご、1954年(昭和29年)8月8日生まれ 神奈川県出身】
建築家。株式会社隈研吾建築都市設計事務所主宰。東京大学教授(学術博士)。
主な作品としては、「石の美術館(2000年)」や「サントリー美術館(2007年)」など。
最近では、2013年4月に開業する「GINZA KABUKIZA」がある。



本件に関するお問い合わせ

3月19日(火)・20日(水): 株式会社サニーサイドアップ 奥山 (080-4170-8689)
3月21日(木)以降: 東京建物株式会社 広報 IR室 守岡・高橋 TEL03-3274-1984